

86回 ここからカフェ九品仏

社交ダンスのいざない

心と身体に優しいスポーツ  
世界が広がるこのひととき  
視覚に障害があっても大丈夫  
一緒に楽しみましょう！

日時：2025年5月24日(土)  
13:30～15:30  
会場：九品仏複合施設 2階  
講師：日本ダンススポーツ連盟公認指導員  
池田秀雄さん  
パートナー岩本順子さん  
参加費：300円 ※要予約  
申込：090-3961-8514(湯澤)



第110回 お隣さまお茶会

ピアノ連弾と歌

タートル民謡から  
モーツァルトの連弾ソナタのピアノ演奏  
そしてみんなで唄う「オーシャンゼリゼ」まで

日時：2025年5月12日(月)  
13:30～15:30  
会場：スペースえんがわ inn  
講師：白井万知子さん  
阿部維雄さん  
中山有子さん  
参加費：500円 ※要予約  
申込・問合せ 03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

玉田シニアサロンは  
お休みいたします。

ハウスの会員数

特別正会員 5名  
正会員 28名  
ニュース会員 60名

5月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫  
高橋阿貴 小西玲子  
柴田希美絵 昆野敬子

4 ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 6日(日) 玉田シニアサロン/
- 10日(木) 住宅まちづくり総合相談/玉川総合支所
- 11日(金) 玉川まちづくりハウス定例委員会/スペースえんがわ inn
- 14日(月) お隣さまお茶会/スペースえんがわ inn
- 15日(火) プレーリヤカー/ねこじゃらし公園
- 16日(水) 街角保健室@スペースえんがわ inn 中止/スペースえんがわ inn
- 20日(日) 世田谷居場所サミット/
- 22日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」/スペースえんがわ inn
- 24日(木) 住宅まちづくり総合相談ネットワーク会議/世田谷区役所  
住宅まちづくり総合相談/玉川総合支所  
せたがや防災NPOアクション事務局会議/オンライン  
玉川田園調布住環境協議会申請受付 206
- 25日(金) プレーリヤカー/奥沢公園
- 26日(土) ここからカフェ九品仏/九品仏複合施設 2階
- 27日(日) タマデン marché/アビターレ前

5 ハウスカレンダー

- 2日(金) プレーリヤカー 奥沢公園  
9:30～11:30
- 8日(木) 住宅まちづくり総合相談 玉川総合支所  
13:30～15:30
- 9日(金) 玉川まちづくりハウス定例委員会 スペースえんがわ inn  
9:30～11:00
- 12日(月) お隣さまお茶会 スペースえんがわ inn  
13:30～15:30
- 18日(日) タマデン marché アビターレ前  
10:00～15:00 予定
- 20日(火) お出かけ美容院@えんがわ inn スペースえんがわ inn  
10:00～
- 21日(水) プレーリヤカー ねこじゃらし公園  
10:00～12:30
- 21日(水) 街角保健室@スペースえんがわ inn スペースえんがわ inn  
13:30～15:30
- 22日(木) 住宅まちづくり総合相談 玉川総合支所  
13:30～15:30  
せたがや防災NPOアクション事務局会議 オンライン  
18:00～20:00
- 27日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 スペースえんがわ inn  
13:30～15:00



玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ！

5  
2025

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085  
東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email [house@tamamati.com](mailto:house@tamamati.com)  
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>



玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

第6回せたがや居場所サミット

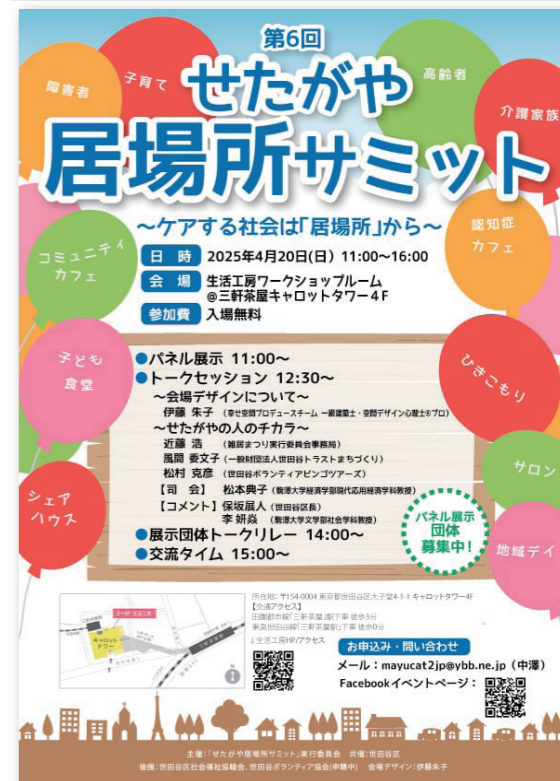
「ケアする社会は居場所から」「居場所は誰でもつくれるよ～」が表題のせたがや居場所サミット。

4/20(日)、玉川まちづくりハウスは、昨年引き続き参加しました。

「数はたくさんあるのに、これまでつながりが少なかった世田谷区にある「子ども、若者、障害者、高齢者」、さらには「外国人」「貧困者」「中年の無職者」…。さまざまな「居場所」をネットワークし「ケアする社会」を実現していこうと、2018年2月に「せたがや居場所サミット」が始まりました。」

玉川まちづくりハウスもまさにそうなのですが、市民活動にかぎらず自分たちの活動をしていると、それだけに追われ、横につながっていく暇がない…という事態に陥りがち。こういう網羅してくれるような集まりは貴重だと、昨年参加して強く思ったからです。

昨年の約40団体から増え、今年は60団体の参加、場所も三軒茶屋キャロットタワー4階の「生活工房ワークショップルームA、B」を統合して使用できるようになり、会場を回遊していると、あとからあとから団体が出てくるような設えになっていました。老若男女大勢いて、そこで再会したり、知り合ったり、人と人が関わっている様子を見ているだけで、元気になりました。



トークセッションの様子



参加団体それぞれの発表時間



会場はあちこちにボードがたち迷路のよう

保坂区長のコメント



玉川まちづくりハウスご近所の(一社)輝水会もポッチャを持参で参加

## 居場所サミットに参加して

これまで、玉川まちづくりハウスとしては参加してきましたが、僕個人としては初めての参加でした。

最近のまちづくりのトレンドは居場所づくりです。気軽に集って知らない人とのコミュニケーションがふと生まれる安心な『場』づくりが求められているようです。新しい参加者や常連の参加者、内容もそれぞれごちゃ混ぜの賑やかさがありました。

居場所サミットは世田谷のまちづくりの今を可視化する貴重な機会です。

玉川まちづくりハウスはタマデンマルシェやお隣さまお茶会、玉田シニアサロンなどいくつかの居場所を地域で開催しています。すべての内容をブースを訪れる参加者の方に丁寧に説明することはできませんでしたが、これまでに作成した印刷物、冊子が

役に立ちました。

玉川まちづくりハウスのブースには川崎の高校生やコンサルタント、区議会議員さんなどいろいろな人が訪れてくれました。

個人的には「経堂アトリエ」でいただいた哲学カフェの記録「哲学するアトリエ」が気に入りました。ゆっくり読んでみたいと思います。

世田谷のまちづくりの成熟した、あるいはこれからの姿を感じることができた『場』でした。 伊藤雅春



きいろいおうち、経堂アトリエ  
ご近所大学、各種イベント企画、レンタルスペースや地域の文化共創などの活動を通してこころやからだの健康拠点となることを目指している

## お出かけ美容院 始動！！

ことし1月20日(月)のお茶会は、「訪問美容」についてでした。九品仏でHomon salon nie. (ニーエ)として訪問美容に取り組み始めた佐藤新さんに「訪問美容とは何か？」について話していただき、

- ① 高齢で一人で店に出向くのが難しい、
- ② 家族の介護をしていて家を離れられない
- ③ 疾病・怪我で外出が困難、
- ④ 妊娠中、子育て中で落ち着いて美容院に行けないママと子どもたちなど、誰でもが頼んでいい。

まさに、自宅や施設へ美容室が来てくれる『おでかけしてくれる美容室』とわかり、お隣さまお茶会 会場のスペースえんがわinnで、「一日えんがわinn美容室」をやってみては？との話も出ていたのですが、実際にやってみることにしました。

5月20日(火)の10時から。予約受付中です。体験してみませんか？

**お出かけ美容院**  
Space えんがわinnに  
美容院がやってきます  
体験してみませんか？

場所: Space えんがわinn 世田谷区玉川田園調布2-12-6  
日時: 5月20日(火) 10:00~  
連絡先: 03-6411-6077

事前にご希望のお時間の予約をご連絡ください。

私たちが担当します  
佐藤新: 美容師歴19年、九品仏でヘアサロンオープン訪問美容始めました。  
我満美紀: 自由が丘で美容師歴23年、3人の子どものママでもあります。

料金表:  
★ カットのみ: 5500  
★ シャンプー＆カット: 6600  
★ シャンプー＆フロー: 3300  
★ カットカラー(13000カラーのみ8000)  
★ ヘッドスパ5500  
★ 眉カットやパーマもできます。

問合せ: NPO法人玉川まちづくりハウス  
Tel: 03-3721-8699 Mail: house@tamamat.com

## 暮らしのつばやき 2025年 5月

### あられ雪

3月の北海道に旅行してきました。大きな道路はしっかり除雪されて乾いているのに、一本裏の道に入るとうまく歩けないくらい雪が残っていたりして、いつもと違う街の様子も楽しめました。朝から細かいあられのような雪が吹雪く日があり、東京では見たことのない粒の感じがとても新鮮でした。窓や地面に雪の当たる音が、聞いたことのないパラパラとした音に聞こえ、まさに【あられ雪】を体感しました。

### お気に入りのセーター

いよいよ暑いと感じるような気温の日も増えてきたので、毛布を干し、ヒーターをしまい厚手のセーターをクリーニングに出すようにまとめたりなどの夏の準備をしました。カラフルなセーターが好きで、毎冬少しずつ買ってしまうので、どんどん増えて、クローゼットんの場所を圧迫しています。すべてがお気に入りなので、圧縮袋なども使いながら、次の冬まで上手に保管しておこうと思います。

地域 GAYAGAYA  
地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいで紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る  
その29

## 第29回 「奥沢海軍村」 奥沢地誌保存会・染野和夫



左の図は、奥沢地区の東側を拡大した地図です。この中の、東急目黒線と大井町線、それに自由通りに囲まれた丸印中辺りが『奥沢海軍村』と呼ばれた場所で、奥沢、自由が丘両駅の近接地です。現在は世田谷区奥沢2丁目のこの一帯は、昔は荏原郡下沼部村の飛地で「沖ノ谷」と呼ばれた土地でしたが、明治22年(1889年)に玉川地域の8か村が合併して、新たな玉川村が成立した時に奥沢に編入されました。ここに海軍村が形成された要因は、いくつか考えられますが、それらの要因を探ってみます。

第1は「経済の発展による東京市内の人口増加」です。大正時代中期～後期にかけ、経済の発展に伴い旧東京市(ほぼ現在の山手線の内側程)の人口が急速に増加、市の周辺郊外への広がりを見せます。特に、荏原郡の南西部では、田園都市(株)の田園都市計画により東京近郊地の洗足や多摩川台地区(後の田園調布)で大規模な宅地開発が行われました。

第2の要因は「関東大震災の発生」です。大正12年(1923年)9月1日に発生した大地震で旧東京市内は甚大な被害に見舞われ、都市部の災害への脆弱性が露呈します。軍部でも、将校の住居地が都心部に集中するのは危険の判断の下、郊外への移住が進みます。

第3は「交通アクセスの利便性確保」です。大正12年11月目蒲線・目黒～蒲田間開通、大正15年2月、東横線・丸子多摩川～神奈川間、昭和2年8月、丸子多摩川～渋谷間が開通。当地から東京市内の海軍省や横浜、横須賀海軍鎮守府への交通利便性が確保されます。

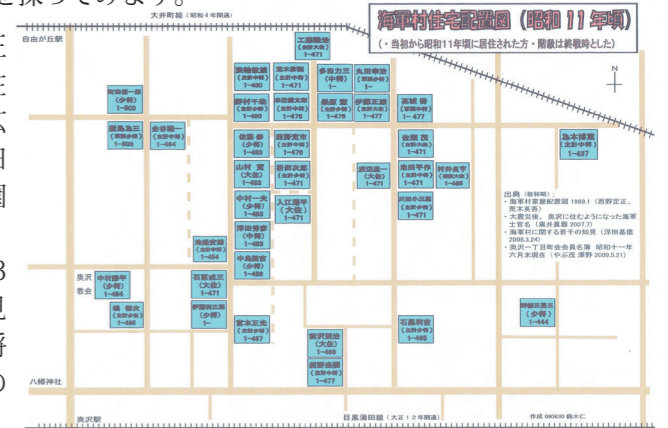
第4の要因は「玉川全圃耕地整理事業の進展の遅れ」です。大正12年、玉川村議会で「郷土の開発は自分達の手で行う」との議決がなされましたが、反対の声も大きく事業組合の発足や工事中などが大幅な遅延となりました。

この様な状況下、奥沢在住の地主・原新五郎氏は耕地整理の事業開始に先駆けて独力で宅地開発を行います。そして大正13年、海軍士官の互助親睦団体の「水交社」と土地賃貸借契約を締結、「水交社」が便宜を図ったことにより海軍佐官クラスの中堅士官が順次住居を構え、昭和初期には30軒を超え土地の人から「海軍村」と呼ばれます。当初は主計の佐官クラスが多数でしたが、終戦時にはほとんどが将官(中将・少将)クラスで、まさに「提督村」とも云えました。

時代の経過で、海軍関係者の子孫は半減、更に代替わりや建替え等で、当時の面影を残す建物は3軒だけとなっています。尚、現在この辺りは、居住される方々により緑豊かな街並みが残されています。



海軍村跡



### 花畑

近所にある大きな公園が、市の大きな緑化のプロジェクトの対象になっていて、とても美しい花畑ができています。ピンクと白と薄紫から、水色と黄色と白の色合いへ変化していく帯状の花壇が並んでいて、散歩していても思わず立ち止まって写真がとりたくなるような風景です。人の手で丁寧に作られた風景も、人の手が加えられていないような風景も、どちらもそれぞれの美しさがあるんだと思った景色でした。

### わかったつもり

人と話していると、言葉だけで分かったつもりになっていても、自分と相手の認識が全然違うものだった、ということがあります。特に、何か新しいことを計画したりやろうとしているときに、今まで思ってもみなかったところにすれ違いが発生しがち。そういった時、自分が見ていた【現実】は、自分が持っている【情報】に大きく影響されたものなのだということをきちんと思い出して、わかり合おうとする努力を続けなければと思います。(貴)